

主 文

本件上告を棄却する。

上告費用は上告人の負担とする。

理 由

上告理由第一点について。

自創法に基く農地買収処分に関しては、民法一七七条の適用のないことは当裁判所の判例（昭和二八年二月一八日昭和二五年（オ）第四一六号事件大法廷判決）と
するところであつて、論旨は理由がない。

同第二点について。

右は、原審の事実認定を攻撃するものであつて、上告適法の理由とならない。

よつて、民訴四〇一条、九五条、八九条に従い、主文のとおり判決する。

右は第一点に関する霜山裁判官の少数意見（前記大法廷判決参照）を除き全裁判官一致の意見である。

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	霜	山	精	一
裁判官	小	谷	勝	重
裁判官	藤	田	八	郎
裁判官	谷	村	唯	一 郎

裁判官栗山茂は出張につき署名押印することができない。

裁判長裁判官	霜	山	精	一
--------	---	---	---	---